

DAIDO UNIVERSITY

Graduation Works Product Design

2014

DAIDO UNIVERSITY

Graduation Works Product Design 2014

02	石故 晴菜	22	酒本 紘明	40	田谷 優太
04	伊藤 真一	24	四之宮 悠生	42	富田 耕輔
06	片平 真理子	26	渋谷 拓馬	44	鳥居 祐多
08	加藤 正拡 松浦 史明	28	野元 翔貴	46	法月 良彦
10	河合 諒	30	首藤 明	48	日比野 雄生 水口 裕貴
12	北村 勇貴	32	末木 賢志	50	藤井 壮拳
14	倉知 千明	34	鈴木 稜平	52	方 嘉楽
16	倉知 千明 小島 莉加 山下 幸大	36	高木 優 長谷川 唯	54	牧野 匡記
18	近藤 駿	38	高橋 祐樹	56	水野 皓太
20	榊原 直樹	40	武松 勇樹	58	渡邊 大輝

ARIOSO



アイブロウ



容器の中のパウダーが先端に付着



弧を描くように塗布する

口紅



ボタンを下にスライドさせる



先端からリキッドルージュが出る

ファンデーション



下に軽く押すとフタが開く



内部の粉がスポンジから出る

半身麻痺の方むけ化粧品

半身麻痺の方むけ化粧品の提案により、笑顔が増えるといった精神的効果と、腕を動かすことによるリハビリ効果を促す目的の研究をおこなった。化粧品の種類は、顔の額縁ともいわれる眉毛を描くアイブロウ、表情が華やかに見える口紅、そして明るい肌を演出するファンデーションの3種類である。本研究によって、半身麻痺の方における生活環境の改善および心のケアを促すことに役立てばと考えている。



いしこ はるな
石故 晴菜

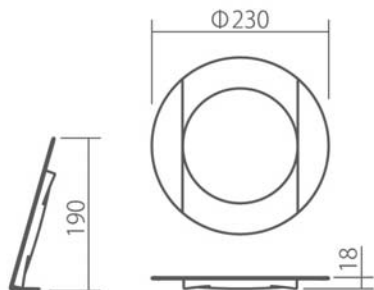
JOIN +





コンビネーションから生まれる価値

近年、国内陶磁器産業では、国外からの輸入増加や内需の低下による衰退がみられる。こうした中で、高い付加価値を持った陶磁器が必要とされ、数多く登場している。特に最近では、付加価値を加えるため陶磁器に別の素材を組み合わせた製品も出始めており、今後の可能性として異素材との組み合わせによる新しい商品やデザインの展開は大きな可能性を持っている。本作品は熱に強く、柔らかな質感を持つシリコン素材と磁器を組み合わせることで、今までに無かった新しい価値を提案する。



いとう しんいち
伊藤 真一

Mi-ke



猫の手も借りたい

ほど掃除したくない...

そんな貴方に「楽しい」相手

ニャ!



color
variation



kiwi



Grape



orange



ウェットシートをとりつけヒータースイッチをON
頑固な汚れとダニ対策に

stic mode

black sheet

掃除を「楽しく」

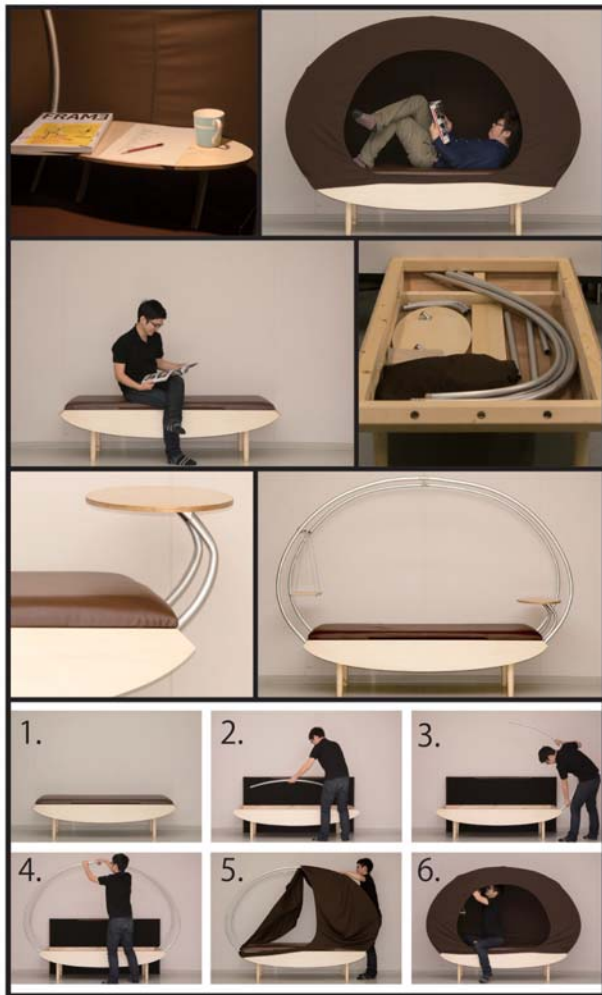
掃除にはどんなイメージがありますか？「面倒くさい」「疲れる」「きたない」
色々な意見から掃除を苦手に思う人も多いと思います。そんな掃除をもっと楽しく、気軽に。それを実現するのがこの「Mi-ke(ミケ)」です。明るいカラーリングと変わった形が目につきますが、掃除の際に物の間まで楽々入るデザイン、先端だけ取り外して手で持って使用する事も可能。取ったホコリがよく見えるよう、シートの色は黒です。これひとつで部屋中綺麗になれば気分も晴れやかに、掃除も好きになります。



かたひら まりこ
片平 真理子

COVO





人が快適に過ごせる最小の空間

本研究では、人間が快適に過ごすことのできる最小の空間について研究し、その結果を家具に応用した。宇宙ステーション、旅客機、列車、カプセルホテルなど狭い空間で人間が長時間過ごさなければいけない場所がある。そういった場所は、人間に与えるストレスを最小限にするような工夫がされており、落ち着いたためのアイデアが多く取り入れられている。こういった考えを家具に応用し、部屋の中に最小空間の大きさで快適に過ごすことのできる空間を構成する家具を最終成果として提案した。



かとう まさひろ
加藤 正拓



まつうら ふみあき
松浦 史明

Next LS





音と光

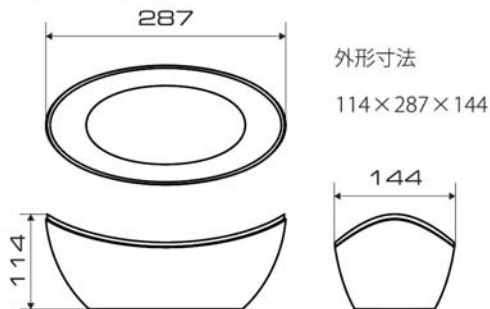
現在スピーカーは数多くの種類が存在しており、特殊なスピーカーも増えてきている。しかし、スピーカー自体に興味を抱く人は少なく音楽を聴くことができれば形にはこだわらないという人が大半である。今回は、圧電スピーカーと有機 EL を使用して、音と光の発生源を一枚のフィルムに収納することにより、音と光がどのように発生しているのか不思議な感覚にとらわれ、視覚的にも楽しめるようなスピーカーを提案した。



かわいりょう
河合 諒

Knock On Base





音楽はより身近なものへ

音楽は CD で聴く時代から、iTunes に代表される音楽ダウンロードサービスやクラウド音楽サービスなど、インターネットを通じて音楽を楽しむ時代へと変わってきました。今後は気軽にネットに繋がるスマートフォンや携帯音楽プレイヤーがより音楽を聴くためのハードの主流となっていくことが想像され、より気軽に音楽を楽しむための形と機能はどうあるべきかをテーマにデザインしました。外に持ちだして聴いていた音楽を途切れることなく楽しむことができるスピーカーです。



きたむら ゆうき
北村 勇貴

meiko





カスタマイズが可能なコスメボックス

ファンデーション、チーク、アイシャドー、アイライナー、アイブロー、口紅…など、現代には多岐にわたる様々な種類の化粧道具がある。それらの道具を一つの箱に収納し、かつ自分の好きな場所に配置できる自分らしさを演出できるコスメボックスをデザインした。紙や布を使用するカルトナージュという技法を用いることで、作成途中において自分の好きな色や柄を自由に選択できることから、よりオリジナル色が強く出る作品になった。



くらち ちあき
倉知 千明

BLOSSOM





かおりをかたちにする研究と製品の展開

本学かおりデザイン専攻の協力を得て、かおりを視覚化し、かたちにする研究を行なった後、練り香水の容器とパッケージデザインへと展開した。練り香水はグレープフルーツ、ペパーミント、ブラックペパー、ラベンダーの4種類に限定し、形状は多角形の集合体である多面体を作成した。容器はアクセサリーの保管も可能としたことから、アクセサリーにかおりが移り、使用した際にほのかにかおりが香る。パッケージは製品との共通のイメージを展開し、開けた後に捨てられないようなグレードを目指した。



こじま りか
小島 莉加



やました ゆきひろ
山下 幸大

Recycling cap



Series



形は 10 種類存在する
植物をイメージした形
リサイクルをイメージした形
各 5 種類ずつ制作

素材：PP

Image



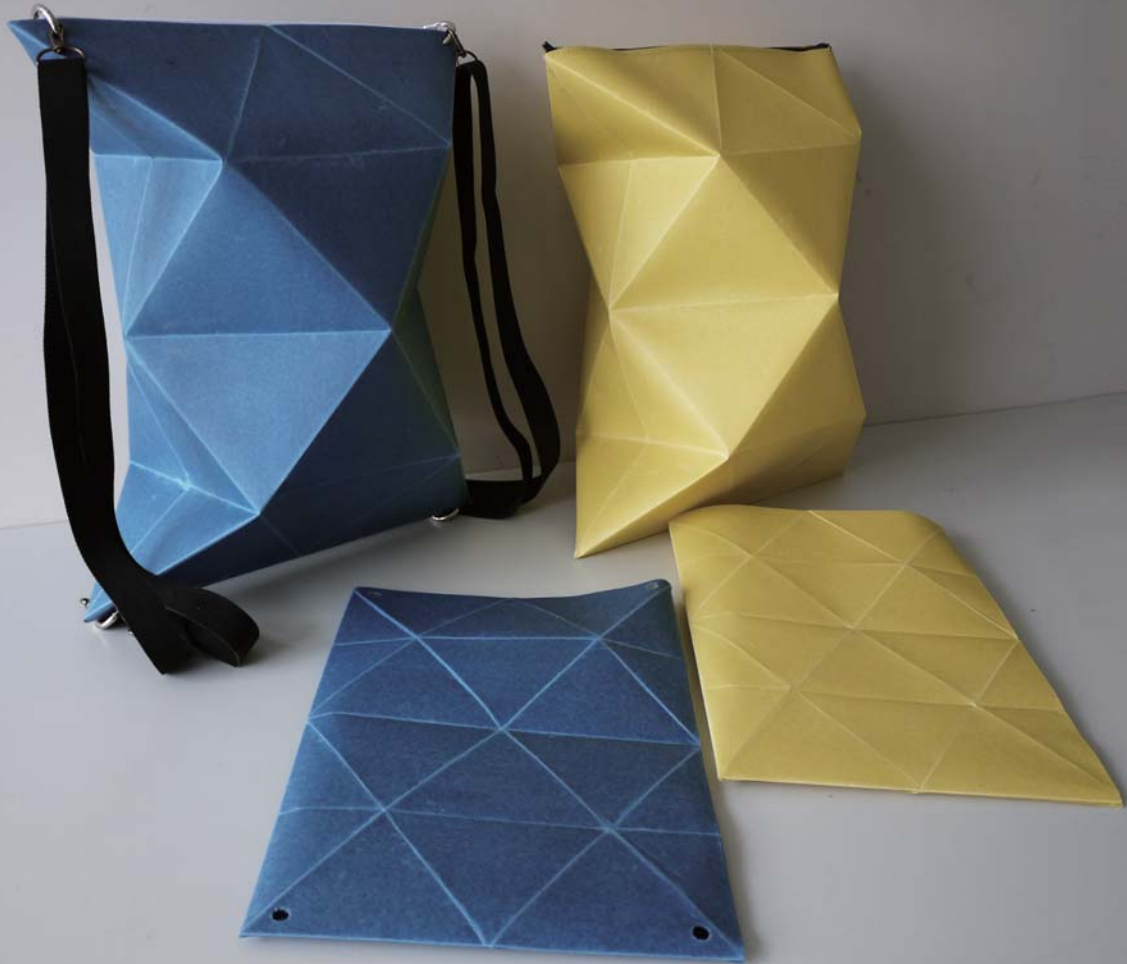
分別目的とした ボトルキャップのデザイン

現在ペットボトルは年間約 250 億本が生産され、再資源率はおおよそ 37% で完全再資源にはほど遠い状況となっている。再資源を促進するにはペットボトルからキャップをはずすことが重要。日本では分別されたキャップをお金に変え、貧しい国にワクチンのお金として送るエコキャップ運動が存在する。ボトルのキャップをデザインし、購入者がペットボトルを買う時にキャップを見て、エコキャップ運動を認知させボトルの分別を意識させることを狙う。



こんどう しゅん
近藤 駿

Oribag





TPO に応じ変形する鞆

現在、鞆の種類は 100 種類近くに及ぶ。しかし、実際に使用する鞆は数種類しかなく、また、TPO に合わせ、鞆を変えなくてはならない。その不便さを解消する為、一つの鞆で何種類にも変形させられる鞆をデザインした。デザインは、日本古来の”折り”。その中でも、缶の表面加工で使われる”ダイヤモンド・パターン”の簡単に折れるところに注目した。変形内容は、リュック→トートバッグ→ショルダーバッグ→クラッチバッグに変形でき、必要な時に好きな形へと変形させられる鞆をデザインした。



さかきばら なおき
榊原 直樹

円座 ~ENZA~





日本の伝統を受け継ぐ座の研究と ライフスタイルの提案

明治時代以降、我が国のライフスタイルは急速に欧米化してきた。しかし、日本には古来より美しい伝統文化があり決して忘れ去ってしまっていないものではない。そこで日本の伝統的な床材である畳を使用し、日本の空間認識やコミュニケーション、室礼（しつらい）と呼ばれるモノを用途に合わせて持ち込み柔軟に部屋を使う日本独自のインテリアコーディネートを考えを利用した座具を考えた。



さかもと ひろあき
酒本 紘明

Variety partition





私だけを演出

個性を演出できるパーティション機能を持った家具。目隠しとなる鱗型の板で、単身生活のプライバシーを守ることができる。

天板は好きな高さで調節でき、デスクやボード、飾り棚など、様々な形に変化することができる。自分らしく、個性を表現できる家具デザインとなっている。



しのみや ゆうき
四之宮 悠生

J-Praesent





Wheelbarrow



Stretcher



Lifesupport



Meeting

災害救助支援グッズ

2011年3月11日に起きた東日本大震災で、われわれが住む日本は改めて地震が多い国であるという事を思い知らされた。そこで、今後起こりうる災害を想定し、多機能な震災支援グッズをデザインした。独立した3つの箱はそれぞれの役割を持ち、保存飲料、ライフラインを確保するためのバッテリー、救急用品など災害時に応じて使用可能となるような目的として分けられている。そして、災害時の直接的な人命救助には担架、瓦礫の撤去などにネコ車に変形できるようにデザインした。



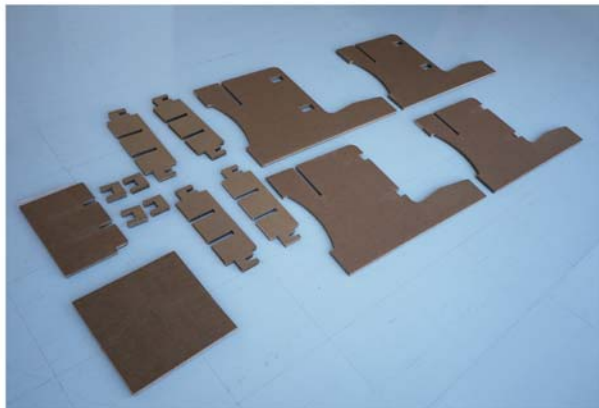
しぶや たくま
澁谷 拓馬



のもと しょうき
野元 翔貴

組み立て多用途ダンボール家具





組み立て多用途ダンボール家具

一度は目にしたことのある組み立て家具。購入時に持ち帰りが楽で、一人で組み立てられ、丈夫なことから今も注目を多く浴びている。しかし、組立家具にもいつくかの欠点があり、その欠点を改善すべく、組み立て多用ダンボール家具をデザインした。素材を強化ダンボールを使用することで軽く、工具なしで簡単に組み立てられる。紙素材でありながら水に強く、丈夫であるなど多くの利点がある。メインパーツから各部品セットを組み立てられることから、「椅子」「机」「棚」となり、1人暮らし、転勤族をターゲットに制作した。



しゅどう あきら
首藤 明

ベビークーファン





持ち運べるベッドについて

昔使われていた乳母車と現代で言うクーファンを組み合わせ、柔軟性と強度を再現した作品。硬い素材は一切使用せず、乳児にやさしい柔軟性の高いフェルト（羊毛）を活用し、柔らかくつつくみこむイメージ。ベビーカーなどのように階段では負荷がかからず、手軽に持ち運べる。



すえき けんし
末木 賢志

Home Layouter



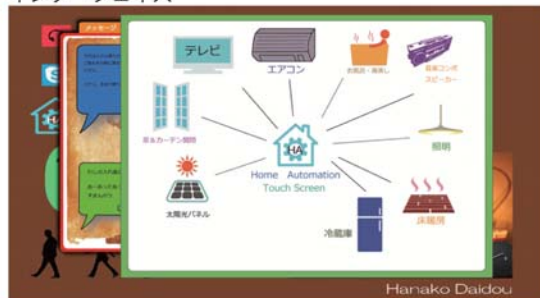
使用シーン



ディテール



インターフェイス



家庭環境を快適にする PC

世の中には様々な情報端末が存在し、近年はスマートフォン、タブレット端末の普及が著しい。本研究の調査で、近年パーソナルコンピュータの需要が減りつつある事が判明した。パーソナルコンピュータそのものを見直し、今までに無い新しいあり方、使い方の可能性を改めて探る事が必要である。家族のためのコンピュータが必要とされていると認識し、快適な家庭環境を実現する家庭内で、家族が皆で共有して使用する Home PC のデザイン開発を行った。



すずき りょうへい
鈴木 稜平

Простота
простотёр



気軽に持ち運び自転車



折りたたみ軸を中心からずらした
 ことにより従来よりコンパクトに
 折りたたむことができる。



ダイレクトドライブを採用。
 チェーンレスになり既存の自転車
 よりもホイールベースが短い。



乗車時 D 1000×W 800×H 600



携行時 D 550×W 600×H 280

公共交通機関に持ち込込むことができれば、行動範囲が広がりサイクリングを楽しむ範囲が拡大できる。しかし、持ち込む手間や他の乗客に迷惑を考えるとためらってしまうのが折りたたみ自転車の現状である。既存の折りたたみ自転車は、工夫はされているものの依然として課題は多い。そこで従来の折りたたみ自転車よりも軽く、簡単に折りたたみができる持ち運びしやすい自転車を制作した。



たかぎ まさる
高木 優



はせがわ ゆい
長谷川 唯

New Plywood





新しい成型合板の提案

成型合板の新しい加工法と新しい素材の研究を行った。従来の成型合板は単板と呼ばれる板を複数枚、接着剤で積層接着成型する。そこで接着、成型する前の単板材の段階で加工を行い成型合板の可能性と幅を広げたいと考えた。単板材をレーザー加工後、曲げ成型を行うことによって合板という積層構造を生かした構造体が生まれる。穴をあけることにより軽量化を図ることが出来たり、新しい素材としてこの合板を提案したい。



たかはし ゆうき
高橋 祐樹

Wood Rack





分解パーツ

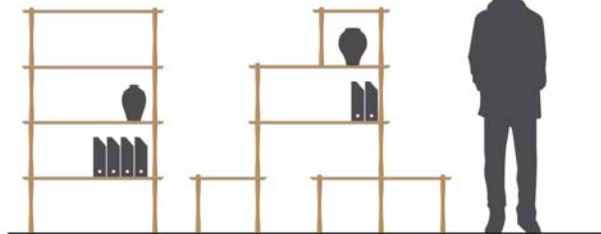


使用シーン



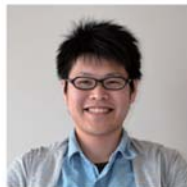
接合部

組み換えバリエーション



空間を自分らしく

私たちが部屋を分ける際には、間仕切りの他に棚を用いるシーンがよく見られる。空間を分ける際、多くの棚は壁際に設置する事を想定して製作されているため、自身の想定する形に変える事が難しい。間仕切り、ベンチ、机など様々な形に可変可能な棚を提案した。また、解放感と光を取り入れやすくするために全体的に細く、シャープなデザインを心掛けた。心地よく生活が可能な空間を自身のオリジナルな形にして使用するための提案である。



たけまつ ゆうき
武松 勇樹

Slide Crutch





作品構成：W160×H1124

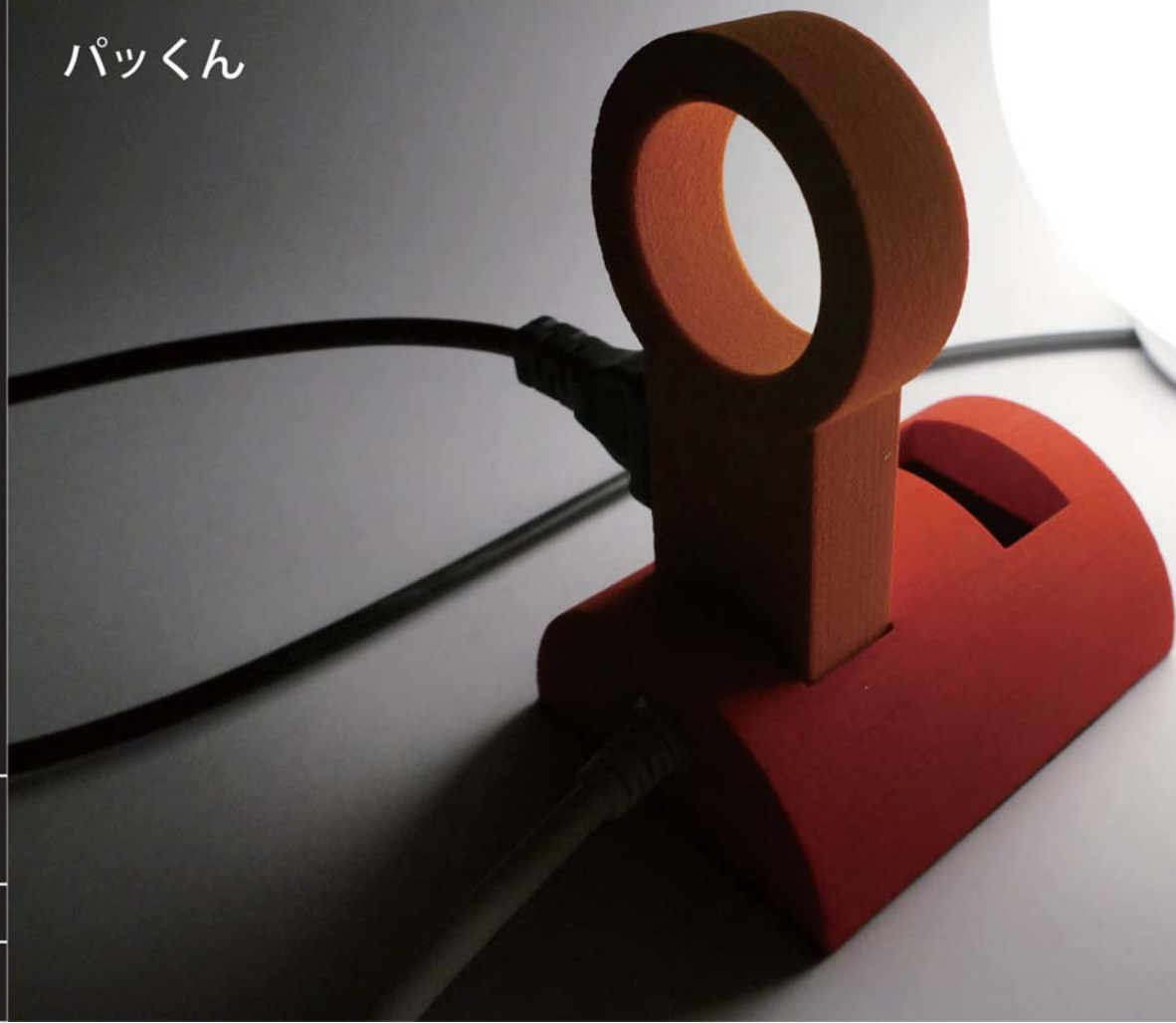
スライド松葉杖

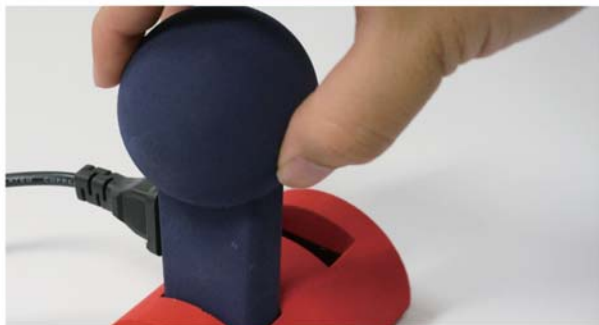
現存する松葉杖は多種多様の形に変化している。しかし広く知られている形の松葉杖にはまだ問題点があるのではないかという仮説を立て3～4ヶ月間の間使用し検証を行った。使用して気になったことは、大きくて収納に困るということと使用していないときの置き場所に困るということ周りの人からの視線が気になるということです。そこで考えた松葉杖は使用していないときはスライド機能で小さくし、形は必要な機能をのこし体のラインで隠れるようにシンプルな形にした。



たや ゆうた
田谷 優太

パッくん





誰にでも優しい補助タップ

コンセントタップをデザイン。一つ一つに意味のある形状でシンプルなデザインにすることで、使用者の補助の役割を果たすようになっています。コードに引っかかった時にすぐに外れるようになっており、コンセントの抜き差しが簡単にでき、生活弱者にも優しいデザインになっている。可愛らしい形状にしたことでコンセントタップに対する存在感を改善した。



とみだ こうすけ
富田 耕輔

カメラ防湿庫



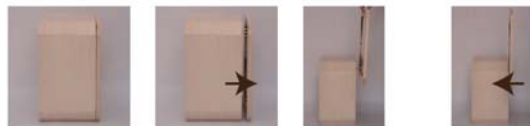
汎用タイプ



望遠レンズ収納タイプ



扉の開け方



閉状態

扉を前に引き出す

扉を回転させ開く

扉を押し込み固定

「桐」の特徴を生かす

桐は古くから筆筒（たんす）や桐箱として、着物や掛け軸などの収納具として使われてきており、桐は恒湿性や防虫性など、保存することに適した特性を有している。桐のこの利点を活用し、高い湿度によるカビの発生を防止しなければならないカメラや交換レンズ保存への適用を考えた。防湿庫に使用される素材はプラスチックやスチールが主流の中で、桐という素材を用いたことと、開閉方式も他と異なる高品質感を意図したデザインにより、他にはない「special感」を醸しだし、カメラマニアの満足度を増す防湿庫を作り上げた。



とりい ゆうた
鳥居 祐多

Warm Hug



人間を包み込む椅子



椅子に座るといふ文化は、欧米を中心に歴史が長いが、現代では私たち日本人の生活にも深く関わっており、椅子はなくてはならない存在となっている。しかし、私たちにとって椅子とは、作業をしたり食事をしたりする時に使用することがほとんどである。よりくつろぐことに特化した椅子があっても良いのではないだろうかと考え、身体を包み込むことで安心感を与え、これまでの椅子と違った座り方ができる心地よい椅子を提案する。



のりつき よしひこ
法月 良彦

Deer





可動部を分散させた構造



指挟み防止のための空間



肘置き部

展開時の寸法

W:626mm

H:718mm

T:505mm



折りたたんだ状態

安全な構造の折りたたみ椅子

現在の折りたたみ椅子は、指を挟むなどの怪我が発生しているにもかかわらず、安全性の配慮にはまだ改善の余地がある。そこで私たちは、安全性を第一に考えた折りたたみ椅子をデザインした。折りたたみのための回転軸を上方へ持っていくことにより、機構が密集する問題を解決した。また、脚と座面をつなぐ軸を長くし、指を挟みにくくするなどのデザインによって安全性を向上させた。デザインのポイントは、背面から延びるひじ掛けによって、スタイリッシュなイメージを醸成している。

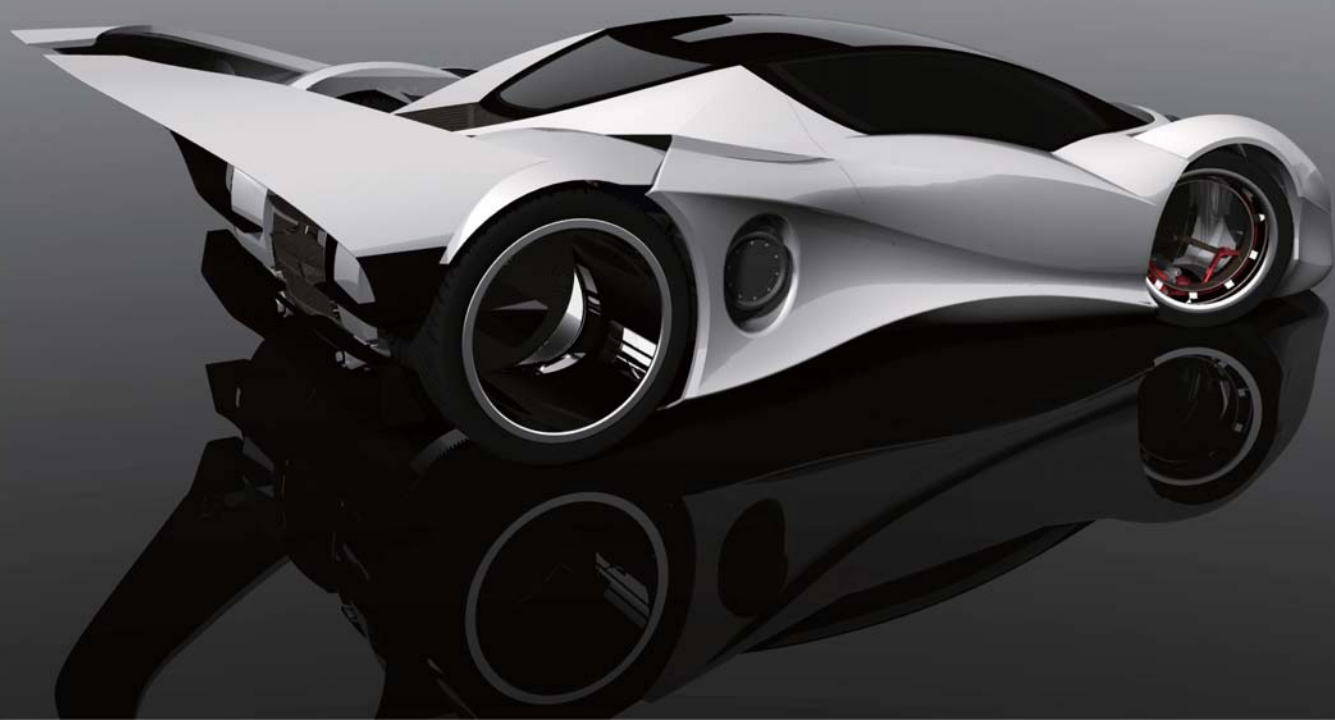


ひびの ゆうき
日比野 雄生



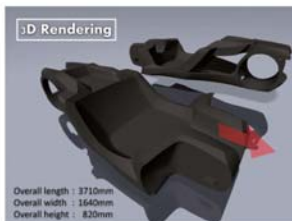
みずぐち まさよし
水口 裕貴

MOSTRO



MOSTRO

Hubless Wheel × Electric Vehicle



EV による新しい Driving Pleasure

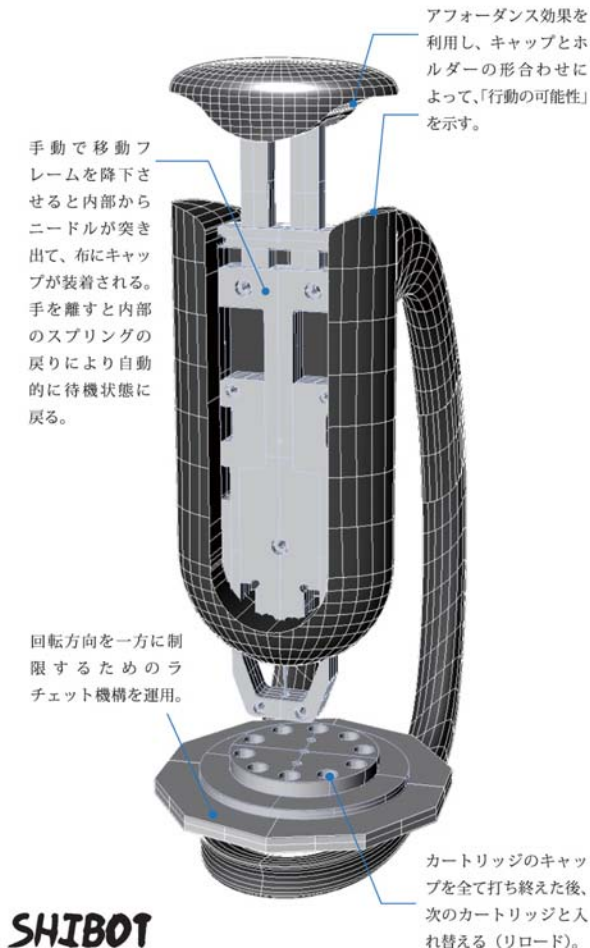
従来の EV デザインは、保守的なものが多く落ち着いたデザインが特徴となっている。そこで、EV の特性である加速力や空間性を活かし、今までにはない力強い“モンスターカー”を思わせる魅力的なデザインが必要と考えた。ハブレスホイールを使用した視覚的なインパクトと機能性をコンセプトにデザインを行った。デザインポイントとして、ボディのトレードが可能なセパレーションボディを採用し、ファッション感覚でボディの乗せ換えができる楽しさを追求し新しい EV の提案である。



ふじい まさたか
藤井 壮挙

SHIBOT

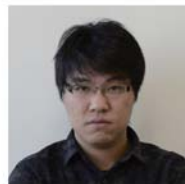




SHIBOT

伝統工芸「絞り」用簡易型ロボットの制作

本学工学部総合機械工学科ロボティクス専攻と連携し、伝統工芸「絞り」における簡易型キャップ装着ロボットを制作した。上下機構の組合せによって、従来熟練度が必要な工程の生地を糸を巻き付けて括る作業を一回に 10 個のゴムキャップを埋め込ませる方法で簡易化に成功した。また、曲線を多く取り入れている木製の外付け型ホルダーは、金属製機構部品の冷たい距離感を中和する役割を果たし、機能機構との分離、組立構造によって、収納性に優れ、「伝統と現代の融合」を演出できたと思われる。



ほう からく
方 嘉楽

Slush Pad





Slush / Pad



エイミングのできるゲームパッド。

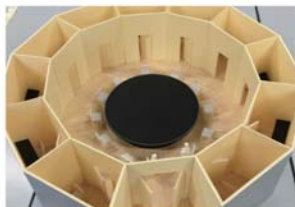
FPS (First Person Shooter) などのジャンルに特化したゲームパッドの研究。FPS ではエイミングというターゲットポイントを正確に合わせる技術が必要とされ従来のゲームパッドではマウスのエイミング性能に遠く及ばなかった。しかし、ゲームパッドは臨場性、操作性、に長けている。右手親指操作はスティックの代わりにタッチパッドを活用することでマウスに近い操作をゲームパッドで実現させキーボードやマウスを同時に使用するプレイスタイルにも対応するために左右で分離する機能を設けた。



まさの まさき
牧野 匡記

新しいマンガ喫茶





コミュニティ喫茶

新しいコミュニケーションが取れるマンガ喫茶の提案。円と組み合わせることで中心ができ、集まる場所が生まれる。これにより新しいコミュニケーションがとれる場を設けることにより新たなマンガ喫茶にした。また、従来ではマンガ本は実在庫であったが、マンガ本を全てデジタル化し、さらに広いスペースを確保でき、中心を囲むようにパソコン一体テーブルを配置することによりそこに人が集まれる。



みずの こうた
水野 皓太

AvantC





先進的なキャリーカー

エコへの関心の高い現代で通勤に自転車を推奨する国が多くある。日本においても例外ではなくこれから広がっていく分野であると思い、そこに向けて製品を製作しようと考えた。作品の特徴、12.5inchの大口径タイヤ・トレーラー機構・折りたたみ機構である。自転車牽引により通勤などに使え、上部を折りたたむことで台となり、待ち時間に体に負担をかけることなく書類作成ができる。



寸法 H1005mm×W523mm×D394mm



わたなべ だいき
渡邊 大輝

奥付

私達は、大同大学情報学部情報デザイン学科プロダクトデザイン専攻の3期生として
四年間の集大成をここにまとめました。
最後までご覧いただき、誠にありがとうございました！

作品集制作・監修

北村 勇貴

高木 優

武松 勇樹

方 嘉楽

印刷・製本

PRESS-TALK



〒457 - 8530 名古屋市南区滝春町10番地3
<http://www.daido-it.ac.jp/>